

# 強者の戦略

【やはり京大世界史に中国史は欠かせない】

こんにちは、世界史の北林です。春は過ごしやすくいいんですが、花粉が飛ぶわ黄砂が飛ぶわで、鼻と喉がずっとやられていました。きっとPM2.5などもいっぱい飛んでいたことでしょう。私は今年本厄だからきついのか、よくわかりませんが、本当に声がずっとかかれています。そして声が裏返って時々「お●ぎと●一コ」さんのテンション高めの時の声みたいになったり、大変でした。今は復活していますので、教室やE-Lectureで私の授業を受講されている方、今まで以上にばりばり授業していきますから、待っていてくださいね☆。そして私と同じように花粉などでお悩みの方、対策をしっかりしておきましょう！

さて毎回の様に「スパルタン」の案内も載せておきます。2015年のE-Lectureの「スパルタン」が始まりました。

今年の前期は「東大・京大・医学部スパルタン」が開講され、9月から大学別に「東大スパルタン」「京大スパルタン」、国公立医学部対策の「医学部スパルタン」と分かれていきます。インターネットで全国に、研伸館がもつ東大・京大・国公立医学部合格へのノウハウを発信していきます。全国の皆さんの受講をお待ちしています。

現在は、4月上旬に実施された高3の体験授業をオンデマンドで見ることができます(無料)。

そしてライブ授業に1回無料で参加することができます(オススメ！)。

実はPCだけでなくiPadでもiPhoneでも受講できます。まずは一度HPまで来てくださいね！

→ホームページはこちら [spartan.kenshinkan.net](http://spartan.kenshinkan.net)

では毎度おなじみの入試問題へのチャレンジです。今年の2月も、京都新聞さんのご依頼を受けまして、研伸館の世界史講師陣が解答速報を作成いたしました。その第1問に皆さんにチャレンジしていただきたいと思います。やはり京都大学は中国史が外せません。今回は近現代史ですね。

## 問題

東アジアの「帝国」清は、アヘン戦争敗戦の結果、最初の不平等条約である南京条約を結び、以後の60年間にあっても、対外戦争を4回戦い、そのすべてに敗れた。清はこの4回の戦争の講和条約で、領土割譲や賠償金支払いのほか、諸外国への経済的権益の承認や、隣接国家との関係改変を強いられたのである。この4回の戦争の講和条約に規定された諸外国への経済的権益の承認と、清と隣接国家との関係改変、および、その結果、清がどのような状況に陥ったのかを、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

(2015年 京都大学)

さあ、アヘン戦争の敗戦以後の4回の戦争って何が思いつきますか？まずはそこですよ。じっくり調べていただいでいいので、チャレンジしてください。今はまだ論述に慣れていませんから、文章は完成はさせなくていいので、「構想メモ」を作ってみてくださいね。皆様のチャレンジ、おまちしています。